

立山町



贈呈理由

町庁舎でヒートポンプ空調導入や保育園へ地下熱利用空調導入により、省エネを推進



かがやき保育園



施設全景



オープンスペース

立山町は、標高3,000m級の立山連峰ふもとに位置し、豊富な地下水と豊かな自然環境を誇る。町では、その環境を守るため積極的に環境負荷の低減を推進し、「低炭素・循環・自然共生」地域創生実現プラン実現事業のモデル地区として、未利用エネルギーの活用、CO₂排出削減を推進している。

省CO₂の決め手、未利用エネルギー利用とオール電化

立山町では町立かがやき保育園の建設に当たり、豊富な地下水を空調機の熱源とする「地中熱空調」による省エネ、省CO₂を図ることとした。地下水利用ヒートポンプによる冷暖房システムにより、CO₂排出削減量は年間45tを実現。環境にやさしい富山県産杉材を多用した空間と、床吹き出しの空調は、園児をはじめ職員のストレスを低減し、子育てに最適な環境となっている。厨房もエコキュートの採用をはじめ、オール電化で効率化され、環境負荷が小さく、涼し

くて快適な作業環境が整っている。

リニューアルに高効率空調の採用

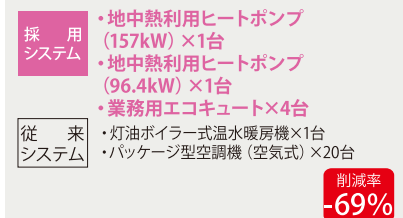
立山町役場庁舎においては老朽化した空調設備を高効率空調システムに変更し、CO₂排出量を削減。またデマンド警報システムの採用により、省エネ意識の向上と、全職員の協力による最大電力抑制に効果を上げている。さらに、公民館、老人ホームのリニューアルや、町民交流センターの新設などにも高効率空調システムを採用し、次々に省CO₂化を展開している。

電力負荷平準化の貢献と様々な省エネ、省CO₂への取り組み

電力負荷平準化に貢献する、蓄熱式暖房器を半数以上の小学校で採用し、快適な教育環境の提供と電力負荷平準化に貢献している。また、役場庁舎をはじめとする公共施設、街路灯・防犯灯にはLED照明を積極的に採用。さらには小水力発電への支援、太陽光発電、小型

風力発電の設置など、終わりのなき省CO₂への取り組みを続けている。

一次エネルギー消費量削減効果



〔諸元〕エネルギー使用実績比較
一次エネルギー換算値
※電気(全日)9.97MJ/kWh※ 灯油36.7MJ/ℓ
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」(平成28年3月1日改正)

立山町

- 立山町立かがやき保育園
所在地:富山県立山町前沢2543-1
建築設計:金原建築設計事務所
建築施工:新栄建設・西田組JV
延床面積:1,394.76㎡
竣工:2015年(新設)
地中熱利用ヒートポンプ 157kW×1台 [ディンプレックス]
地中熱利用ヒートポンプ 96.4kW×1台 [ディンプレックス]
エコキュート 550ℓ×4台(三菱電機)
- 立山町役場庁舎
所在地:立山町前沢2240
建築設計:(株)押田建築設計事務所
設備設計:(株)押田建築設計事務所
竣工:2015年(更新)
高効率空調システム 318kW×2台 [東芝キャリア]